

令和2年度 入学式（定時制） 校長式辞

春の穏やかな光が、満開の桜の花を照らす中、令和2年度 愛知県立古知野高等学校、定時制課程の入学式を挙げていきますことは、誠に喜ばしいことでもあります。

本日の入学式には、御多用の中、PTA副会長 岡田奈津美 様に御出席をいただきました。心から御礼を申し上げます。

只今、入学を許可した34名の皆さん、入学おめでとう。ようこそ、古知野高校へ。教職員一同、皆さんの入学を心から歓迎します。

さて、新入生の皆さんは、中学校における義務教育の課程を終え、新たな学びを求めて高校に入学してこられました。今は、高校生活への期待と不安な気持ちとが入り混じっていることと思います。

そこで、本校の生徒として、今後、心がけてほしいことが1つあります。

それは、「**とりあえず、挑戦する**」ということです。

「やりたいと思えば挑戦すればいい。」「苦しんだ体験は未来の自分の支えになる。」プロ野球の現役を引退したイチローが引退会見で話した言葉です。誰しも失敗はしたくない。失敗は怖い。だからといって、失敗を恐れて行動しなければ前には進まない。それならば、とりあえず、やってみよう。

「やりたいと思えば挑戦すればいい。そのときに、どんな結果が出ようとも後悔はない。つらいこと、しんどいことから逃げたいと思うのは当然のことだけど、でも、エネルギーのある元気なときに、それに立ち向かっていく。そのことは、人として重要なことだ。」とイチローは語っています。

本校では、学びなおしの時間があります。今まではわからなかったこと、できなかったことでも、ゆっくりと、じっくり時間をかけて学べば、わかるようになり、できるようになります。今、自分にできること、頑張ればできそうなこと、そういうことを積み重ねてください。夢や目標を達成するには、小さなことを積み重ねるしかありません。結果が出ない時でも、決して諦めない姿勢が、何かを生み出すきっかけとなります。

また、校外学習、球技大会、修学旅行などの学校行事、部活動にも積極的に取り組んでください。私たちは一人では生きていくことはできません。人とのつながりが人を成長させます。自分のことを大切にするとともに、相手のことを思いやる心も育ててください。

「**とりあえず、挑戦する**」まずは、決められた時間までに学校に登校する。このことから始めてください。

最後になりましたが、保護者の皆様に、一言お祝いとお願いを申し上げます。

本日、お子様が晴れの高校入学の時を迎えられました。感慨もひとしおのことと存じ、心からお祝い申し上げます。今日から教職員一同、情熱と愛情をもち、全力で教育活動に取り組み、保護者の皆様方の御期待に応えていく所存であります。御家庭におかれましても、本校の教育方針を御理解いただき、お子様の良い面は褒め、悪い面は悪いと毅然と指導していただきますようお願いいたします。これからの高校生活、喜びも、心配も、ともにさせていただきます。困った時、迷った時には、どうぞ相談相手にしてください。

学校には、厳しさの中にも喜びや楽しみ、感動がいっぱいあります。本校に入学した新入生の皆さんの高校生活が、どうか充実した日々でありますように、より多くの喜び、楽しみ、感動を味わえることができるよう心から祈って、式辞といたします。

令和2年4月6日

愛知県立古知野高等学校長 川合 貴也